

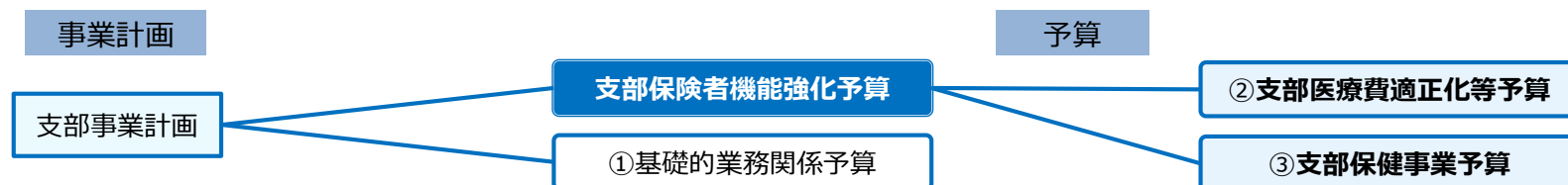
令和 6 年度 千葉支部保険者機能強化予算執行状況

支部保険者機能強化予算とは

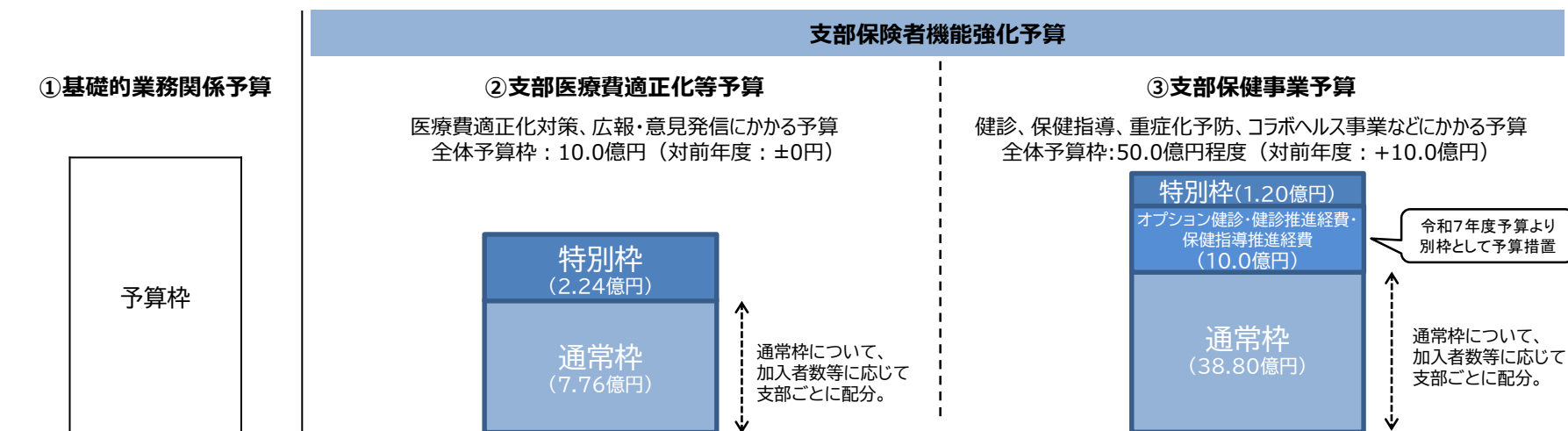
支部保険者機能強化予算とは

中長期的な財政運営という観点も踏まえて、協会けんぽの将来的な医療費の削減につなげていくことを目的に各支部で地域の実情に応じた医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組を実施する場合に計上する経費のこと。

支部保険者機能強化予算の位置づけ（イメージ）



令和5年度からの予算体系（令和7年度より一部変更）



※特別枠：令和5年度支部保険者機能強化予算にて新設。エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組に意欲的な支部に対し、予算の「通常枠」に追加して予算措置するもの。

令和6年度千葉支部保険者機能強化予算執行状況（全体）

区分	分野	概要	予算額	執行額	執行率
支部医療費適正化等 予算	医療費適正化対策経費	医療費適正化に関する経費	4,766千円	3,579千円	75.1%
	広報・意見発信経費	広報チラシ作成経費、ジェネリック医薬品の広報経費 など	13,079千円	11,021千円	84.3%
	合 計		17,845千円	14,600千円	81.8%
支部保健事業 予算	健診経費	集団健診、健診推進経費、健診受診勧奨経費 など	42,977千円	35,368千円	82.3%
	保健指導経費	中間評価時の血液検査費、保健指導関係経費、保健推進経費、 保健指導利用勧奨経費	7,453千円	2,224千円	29.8%
	重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨、重症化予防対策経費	17,665千円	9,750千円	55.2%
	コラボヘルス事業経費	健康経営（健康宣言）事業の経費	20,163千円	7,823千円	38.8%
	その他の経費	その他の保健事業に係る経費	7,726千円	4,923千円	63.7%
	合 計		95,984千円	60,088千円	62.6%
合 計（全 体）			113,829千円	74,688千円	65.6%

令和6年度千葉支部保険者機能強化予算執行状況

支部医療費適正化等予算

分野	事業名	予算額	執行額	執行率	実施状況（執行率が50%以下の場合の理由）	資料2-1 掲載頁
医療費適正化 対策経費	支部における健康課題の解決に向けた医療費情報及び健診情報等の分析とそれに基づく事業企画	88千円	13千円	14.2%	・令和5年度に引き続き、千葉県衛生研究所技監と「千葉支部分析事業アドバイザー」として委嘱契約を行った。 ・千葉支部分析事業アドバイザーを招いた分析事業会議を3月に実施し、第3期データヘルス計画の進捗状況報告や令和7年度支部事業計画の策定、支部の健康課題解決に向けた重点施策に関する新規事業案等について、評価・助言をいただいた。 (執行率50%以下の理由：分析事業会議の日数が当初の想定より少なかったため)	20・21・39頁
	医療費適正化に向けた事業所への啓発	4,565千円	3,465千円	75.9%	・より多くの加入者に医療費適正化の取り組みを推進していただくために、取り組み内容をわかりやすく広報することを目的として、漫画を活用したデジタルリーフレット4種類を作成し、ホームページに順次掲載中である。	38・42頁
	薬局別ジェネリック医薬品使用割合通知の送付	112千円	102千円	90.6%	・千葉県名内の保険薬局へのジェネリック医薬品使用割合通知を送付するための専用封筒を作成した。	37頁
広報・意見 発信経費	納入告知書同封チラシの作成	6,050千円	3,992千円	66.0%	・毎月事業所に送付する納入告知書に同封するチラシを作成。R6年度広報計画に基づき事業主・加入者へ情報配信した。	42頁
	ジェネリック医薬品の使用促進に向けた各種広報の実施	7,029千円	7,029千円	100.0%	・千葉県・健保連千葉連合会・千葉県薬剤師会と連名でオール千葉体制で、2月に総武線各駅停車に中吊り広告を実施した。 ・1月から2月にかけて、千葉県全域に対し、Tver、YouTube広告、Google広告、Yahoo! 広告、LINEニュースにて広報を実施した。	37頁

支部保健事業予算

分野	事業名	予算額	執行額	執行率	実施状況（執行率が50%以下の場合の理由）	資料2-1 掲載頁
健診経費	新適事業所や未受診事業所等を対象とした生活習慣病予防健診の受診勧奨	2,992千円	638千円	21.3%	・令和6年1月以降に適用された新規適用事業所および令和5年度の生活習慣病予防健診の受診率が0%かつ35歳以上の対象者数が10人以上の事業所へ委託事業者から電話勧奨を実施した。（新適事業所4,642件、未受診事業所1,776件） （執行率50%以下の理由：一般競争入札(最低価格落札方式)で安価な業者と契約したため。また、勧奨対象が見込みより少なかったため。）	26頁
	集団健診	12,657千円	9,670千円	76.4%	・集団検診協会が主催する集団検診の実施地区に在住する被扶養者に対し、実施地区ごとの案内はがきを送付し、受診勧奨を行った。（送付対象者数：42,013名、受診者数：3,439名） ・協会主催のオプション集団健診をのべ49会場で開催し、会場付近の対象者へ案内はがきを送付し、受診勧奨を行った。（送付対象者数：のべ116,022件、受診者数：6,926名） ・がん検診と同時に実施が可能な木更津市在住の対象者へ受診勧奨はがきを送付した。（送付対象者数：2,543名、受診者数：162名）	26・27頁
	事業者健診の結果データの取得	17,863千円	19,386千円	108.5%	・事業者健診データの取得促進について外部委託を活用し、提供依頼書や健診結果の提出について文書及び電話による勧奨を実施した。（文書勧奨件数4,305事業所、総架電件数8,829件、提供依頼書取得事業所890事業所、健診結果データ作成件数7,324件、健診結果紙媒体取得件数 12,742件） （執行超過の理由：データ作成件数等の取得件数が予定数量より多かったため。）	26頁
	G I Sと経年的受診状況データを利用した未受診の被扶養者に対する受診勧奨	3,674千円	2,322千円	63.2%	・千葉県内に居住する千葉支部、埼玉支部、東京支部、神奈川支部加入の特定健診未受診者に対して、GISを利用して自宅付近の特定健診実施機関5機関（A契約の実施機関を1機関以上含む）を掲載し、利用勧奨の圧着はがきを送付した。 （送付対象者数：76,328名）	27頁
	初めて健診対象となる加入者に対しての受診勧奨	833千円	387千円	46.4%	・令和7年度に生活習慣病予防健診の対象年齢（35歳）を迎える被保険者及び特定健診の対象年齢（40歳）を迎える被扶養者に対し、受診勧奨の圧着はがきを送付した。（送付対象者数 被保険者：9,202名、被扶養者：2,410名） （執行率50%以下の理由：一般競争入札(最低価格落札方式)で安価な業者と契約したため。）	26・27頁
	生活習慣病予防健診年度案内同封用チラシの作成	1,597千円	967千円	60.6%	・生活習慣病予防健診の年次案内に同封するチラシを作成し、健診に関する制度の周知を図った。	25・26頁
	特定健康診査受診券同封用チラシの作成	2,021千円	1,223千円	60.5%	・特定健診の年次案内に同封するチラシを作成し、健診に関する制度の周知を図った。追加費用を負担することで生活習慣病予防健診と同等の健診が受診できる実施機関の一覧を作成し、受診率向上を図った。	26・27頁
	受診勧奨予備群等への健康意識啓発通知事業	1,210千円	722千円	59.6%	・本部が実施している受診勧奨の予備群に対して健康意識啓発の通知を送付し、受診勧奨域へ移行防止を図った。 （送付対象者数：20,671通）	32頁
	その他	130千円	52千円	40.1%	・生活習慣病予防健診実施機関に対して実地調査を行い、実施要綱や事務処理要領に基づいた健診が実施されているか確認を行った。 （執行率50%以下の理由：公用車使用による移動が多かったため。）	25頁

分野	事業名	予算額	執行額	執行率	実施状況（執行率が50%以下の場合の理由）	資料2-1 掲載頁
保健指導経費	保健指導推進経費	2,970千円	249千円	8.4%	・推進経費の支払い基準達した4機関に報奨金として支払った。 （執行率50%以下の理由：各機関の実績について四半期ごとにコメントを記載した通知を送付し、実施件数が少ない機関には改善報告を求めるなど、実施件数増加にむけて取り組んだが結果につながらなかった。）	29・30頁
	特保指導受入拒否者へ生活習慣改善を働きかけるパンフレットの送付	550千円	0円	0.0%	予算執行なし ・特定保健指導の受け入れを拒否している事業所の対象者について、自宅へ「生活習慣改善のポイント」をお知らせするパンフレットを7回に分けて952名に送付した。 （予算未執行の理由：人員的な要因で対象者すべてに発送することができず、前年度に作成した在庫で足りたため、令和6年度は印刷作成を行わなかった。）	29頁
	その他	3,933千円	1,975千円	50.2%	・特定保健指導実施者に対する中間評価を行う際の血液検査を実施した。	29・30頁
重症化予防 事業経費	未治療者受診勧奨	17,556千円	9,750千円	55.5%	・本部が実施した一次勧奨者に対して、さらに支部が委託した事業者から文書による受診勧奨を実施した。また、本部が実施した一次勧奨の回答書の返送があった者に対して電話勧奨を実施した。（文書勧奨：23,417名、電話勧奨：277名）	31頁
	重症化予防対策	109千円	0円	0.0%	予算執行なし ・CKDが疑われる未治療者に対して、千葉県が作成した受診勧奨チラシを同封して文書勧奨を実施した。（送付対象者数：3,182名） （予算未執行の理由：CKD対象者への通知に使用するチラシは千葉県から提供を受けたので、支部で作成する必要がなかったため。千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づいて支部保健師が保健指導を実施する予定であったが、体制が整わず実施できなかったため。）	32頁
コラボヘルス 経費	健康宣言事業所における健康づくりのための事業所出張訪問セミナーの実施	6,160千円	1,656千円	26.9%	・申込みのあった健康宣言事業所へ、健康づくりとメンタルヘルス対策を目的とした出張セミナー（オンラインor訪問形式）を実施（健康づくりセミナー：29回、メンタルヘルスセミナー：27回）。 （執行率50%以下の理由：メンタルヘルスセミナーについて、一般競争入札により落札価格がかなり安価となったため）	34頁
	健康な職場づくりの実施に向けた取組	3,842千円	2,503千円	65.1%	・健康宣言事業所へ健康情報誌（年4回）及び事業所カルテ・健康づくりリーフレット等の作成・配布を行った。 ・新規及び再宣言の健康宣言事業所に宣言書証書の送付を行った（R6年度新規宣言：794事業所、再宣言：364事業所）。	34頁
	健康宣言事業所に対する歯科健診の実施	5,088千円	1,995千円	39.2%	・歯科健診受診券1,228名分発行し、321名が受診した。 （執行率50%以下の理由：申し込み数に対して受診者が少なかったため）	35頁
	健康宣言事業所への禁煙対策フォローアップ	1,091千円	794千円	72.8%	・令和4年度の千葉支部の喫煙率データの掲載やナッジ理論を参考とした行動変容を促すようなポスターを作成し、禁煙に関するリーフレット、禁煙おすすめ通知・禁煙表彰の活用の周知文書と併せて、健康宣言事業所へ送付した。	35頁
	健康宣言事業所の普及促進のためのWEBサイト運営	3,982千円	875千円	22.0%	・当初特設サイトの作成等を想定していたが、令和7年度も継続する場合は運営費用等が新たに必要となるため、現行のWEBページをデザイン刷新することと軌道修正した上で実施した。 （執行率50%以下の理由：WEBページのデザインのみの作成となり、業務の規模が縮小したため）	34頁

分野	事業名	予算額	執行額	執行率	実施状況（執行率が50%以下の場合の理由）	資料2-1 掲載頁
その他の 保健事業経費	各種健康イベント等への参画	396千円	105千円	26.5%	・千葉県等と共催で「①禁煙啓発街頭キャンペーン」「②健康ちば推進県民大会」「③千葉県がん予防展」「④ちばアクアラインマラソン出展ブース」を行った。 （執行率50%以下の理由：事業分担金が当初予定していた金額より少なくなったこと、イベント配布用パンフレットを新たに購入しなかったため）	27・35頁
	歯科健診の受診を呼びかける新聞折込チラシによるポピュレーションアプローチ	7,330千円	4,818千円	65.7%	・3日連続で、「口内環境が生活習慣病予防健診につながる」、「生活習慣病から重大疾病の可能性（生活習慣病予防健診の利用案内を含む）」、「歯科検診の受診率の向上、咀嚼機能の向上に向けて」の3つをテーマとして千葉日報に広告記事を掲載した。また、同じ内容の記事をオンラインでも掲載した。	24頁